

基本評価シート

様式

北海道 宗谷・稚内区域

(北海道宗谷総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和5年度（2023年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（宗谷・稚内区域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	宗谷総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	高野 琴羽	担当者連絡先	0162-33-2922
捕獲実施事業者	（認定を受けている・ 受けていない）	予算額（※2）	198,199,000円
		予算額の内捕獲に 要する経費（※3）	98,729,000円

- （※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。
 （※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。
 （※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
50頭	35頭	70%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
72万頭※ （個体数指数：東部137、北部121、中部107、南部353）	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
34,396頭（R4）	58,581頭（R4）	52,012頭（R4）

※令和4年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~15万頭の間と推定

鳥獣関係統計より

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和5年12月28日～令和6年3月27日(※委託期間)
実施区域	<p>宗谷・稚内区域(稚内市ヤムワッカナイ)</p> <p>当該地域は丘陵地帯に航空自衛隊稚内分屯基地と国有林がある。エゾシカの生息域だけでなく越冬地としても利用されており、自衛隊敷地外のノシャップ地域から西浜地区周辺でのエゾシカ出没による交通事故や家庭菜園の被害、被害地での被害が問題となっている。また、採食や踏みつけ攪乱による生態系への影響も懸念される。</p> <p>※1:実施区域の特徴も記入</p> <p>※2:事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・林野庁北海道森林管理局:国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。 ・(地独)北海道立総合研究機構:捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・航空自衛隊稚内分屯基地:わなの設置や捕獲した個体を運搬する際の入門等手続き、及び捕獲場所近隣道の除雪、情報共有を図る。 ・地元市町村等:地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。
事業の捕獲目標	<p>(70%達成)</p> <p>= (35実績値) / (50目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>※1:各種猟法の定義は〇ページ参照、※2:複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ(スマートフォンを含む)で撮影し、データも併せて添付する。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(捕獲現場にて立会)</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p>

	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。)</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p>
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p>
	<p>鉛製銃弾について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	<p>捕獲実施にあたって、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について、関係機関と開催した調整会議内で情報共有。また、実際に現地にて状況確認。また、捕獲エリア周辺は許可なく立ち入りできない場所であるため、主に基地内の隊員に対して事業の周知を行った。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で実施した。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数：38人 (内訳)</p> <p>正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：38人</p>

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：今年度は、初めての場所で実施となったため捕獲状況等を鑑みながら臨機応変に対応が可能になるよう、くくりわなを導入したことで捕獲頭数を伸ばすことができた。また、事前調査や現場の下見、聞き取り等によって、シカの生息場、餌場にしばって的確にワナを設置できたことで捕獲効率を高めることができた。</p>
	<p>改善点：温暖化の影響で2月にもかかわらず融雪が進んだ時期があり、想定外の活動範囲の広がりや餌場の移動を余儀なくされた。今後はこれまでの常識にとらわれない温暖化の影響もイメージした上で捕獲計画を立てる事が必要になる。また、ワナの設置と同時に餌の誘因を始めたが、餌を認識するまで10～14日間程度はかかったため、ワナ設置前に餌誘因だけは事前に行う事でより効果的な捕獲の実施が可能となる。この時期はある一定の範囲内で活動する個体が多いので、餌の誘因さえうまくいけば、臨機応変にワナを移動させることで、捕獲日数が長ければ長いほど捕獲効率を高めることができることも分かった。</p>
【実施期間】	<p>評価：エゾシカの餌が少ない冬季に、給餌で誘引を行い捕獲実施した。越冬期に集中的にエゾシカを捕獲するという目的は達成できた設定時期と考える。</p>
	<p>改善点：捕獲期間の日数が限られていたため、わな設置と誘引を同時に行った。その結果、捕獲開始中期以降から餌におびき寄せられたエゾシカが捕獲される傾向が見られたことから、期間を延長することで、更に捕獲実績が得られたものと考えられる。そのため、本格的な捕獲実施の前に予め誘引を行い、適時を見極めたうえで本格的な捕獲実施ができるよう、開始日をもっと早めると言った改善が必要。</p>

【実施区域】	<p>評価：今年度は宗谷・稚内区域の初めての場所で捕獲事業を実施した。現地調査にてエゾシカが頻繁に利用していると考えられる痕跡が確認できたエリアやシカ道にワナを設置し結果、効果的に捕獲できたため捕獲区域としては適切であったと考えられる。</p>
	<p>改善点：事業実施後も、依然として数多くのシカが確認されている。実施期間を延長し、更なる捕獲が必要と考えられる。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：初めて実施する場所であったためくくりわなを実施。事業実施の半年前から事前にカメラ等を設置し生息状況を把握。その後も事前調査やヒアリング等でかなり綿密にわな設置場所を設定したことで、シカ道（特にメスジカの通り道）にワナを設置できたことが、効率的に捕獲できた最大の要因であったと考えられる。</p>
	<p>改善点：くくりわなの場合は毎日の見回りが必須になるが、実施市町村（稚内市）の従事者が少なく、かなりの高頻度で且つ限られた人員でローテーションを組まなければならないことが大きな課題となった。継続的に実施するために、従事者の確保はもちろん必要だが、長期的にはICT化を進めて、ワナの見回りを現場確認でなくても可能とする法改正等も検討が必要。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価：現場をよく知る北海道猟友会稚内支部と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等を得意とする団体とがコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。</p>
	<p>改善点：今後もコンソーシアムによる事業実施となる場合には、コンソーシアム構成員間の連絡調整体制を確実に構築させる必要がある。</p>
【個体処分】	<p>評価：広大な国有林内で、捕獲後に運搬等が容易な場所であり、除雪も可能な場所を選定し、捕獲実施することができた。</p>
	<p>改善点：食肉への有効活用できる施設が周辺にはないため、すべて処分せざるを得なかった。</p>
【環境配慮】	<p>評価：国有林内での実施ということで、他の鳥獣に最大限影響の少ないよう配慮を行いながら捕獲実施した。</p>
	<p>改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。</p>
【安全管理】	<p>評価：場所柄一般住民の立入はできない場所ではあるが、基地内の自衛隊員への事前周知、現地入口等での注意看板設置、狩猟事故防止のため改めて安全確認を行うことで安全管理体制を確保した。</p>
	<p>改善点：新たな捕獲手法を導入する場合は、適宜新たに適切な安全管理体制を構築する必要がある。</p>
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
<p>今年度初めて実施したエリアであり、かなり生息密度の高い地域である事は認識していたが、事業実施半年前よりカメラを設置し、綿密に設置場所の検討等を行ったうえで事業を実施した事が、なにより大きな成果を得られた要因であった。また、自衛隊敷地内の国有林という特殊な環境の中、森林管理署はじめ特に自衛隊からはかなり柔軟な対応にご協力頂けたことで、地域関係者がエゾシ</p>	

力対策についてお互い理解を深め、信頼・協力関係を構築することができたことも大きな成果であった。ただし、地域柄、従事者問題というのがかなり大きな問題を占めていて、ワナ設置の場合の見回りの労力、人員を確保することが非常に大きな課題で、継続して捕獲圧を高めるためには、ICT化を含めた見回りも可能とする等の法改正含めて検討していく必要があると思慮する。

4. 全体評価

初めての捕獲場所であったため、当初の狙い通り天候や気候の状況により臨機応変な対応が可能なくくりわなという捕獲手法を駆使し、順調にほぼ1日1頭ペースで捕獲を進められたことは、想定内とはいえ成果であった。途中、予想外の融雪により行動範囲が変わり、餌場も変化したことで捕獲出来ない時期もあったので、適切な捕獲期間と捕獲時期、目標設定等は再度検証する必要があると考えられる。

また、給餌として認識するまで一定期間がかかったことから、事前調査とともに事前給餌の重要性も改めて認識したため、今後の当地域の捕獲事業に役立てていきたい。

そしてなによりの大きな成果は初めての場所ということで、稚内市、自衛隊、森林管理署、猟友会と関係者が地域一帯となって業務を実施し、喧々諤々意見を交わし、当地域のエゾシカ対策を真剣に検討できたことが今後の当地域の捕獲推進を進める大きな原動力となる成果だと評価したい。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

国有林内といった、市町村の許可捕獲（有害駆除）等が実施されていない箇所であり稚内市内でもシカの出没が目立つ地域での事業実施により、個体数の減少や、農林業被害、交通事故などの経済的被害の軽減に寄与したものと考える。しかし、未だ生息数が多いことが確認できるため、今後は、関係市町村との連携や、自動撮影カメラによる長期的な調査によりエゾシカの移動ルートを把握することで、効果的な捕獲手法を確立し個体数の減少を目標としていきたい。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別	

	<input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図(地図)※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない
SPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> SPUEの地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果(必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟(捕獲作業)人日数： _____ 人日

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量(銃猟) のべ人日数	_____ 人日	_____ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟(捕獲作業)日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	2,115 基日	基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	35 頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	雄 4 雌 22 仔 9		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.25 (仔 9/全 35)		<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	35 頭	2,115 基日	0.017 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。